


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立新宿高等学校</b> 全日課程			進路実績 4年制大学 76% 短期大学 0% 専門学校 0% 就職 0% その他 24%		
	『進学指導特別推進校』: 伸びる学力・進学実績 (進路・学習・生活指導を一体化した『新宿システム』の実施)			基 礎 現役合格・国公立大学等87名、難関国立4大等10名(東京・京大・一橋・東工・医大)、早稲田慶應59名 陸上競技部、硬式野球部、サッカー部、バドミントン部、チアリーディング部、ESS 学校評価 保護者の本校への満足度: 全体72.3%、学習70.5%、進路74.7%		
基本情報	所在地	〒160-0014 新宿区内藤町11番地4	電話番号	03-3354-7411		
	アクセス	(1) JR新宿駅下車徒歩4分、東京メトロ、都営地下鉄、新宿駅下車徒歩7分 (2) 東京メトロ副都心線新宿三丁目駅下車徒歩2分、都営地下鉄新宿線新宿三丁目駅下車徒歩4分 (3) 京王線 新宿駅下車徒歩10分 西武新宿線 西武新宿駅下車徒歩11分				
本学情報	学科	普通科				
	在籍生徒数	普通科955人(男子451人、女子504人)				
報	教育課程の特徴	単位制、50分6時間(火・水曜、7時間)授業、土曜授業年間18回、きめ細かい習熟度別授業(英語、古典、数学、化学)実施と多様な選択科目設定				
	ホームページ	<a href="http://www.shinjuku-h.metro.tokyo.jp">http://www.shinjuku-h.metro.tokyo.jp</a>	自律経営推進予算 31年度(単位:万円)	2,452		
その他	平成19年度～『進学指導特別推進校』	校 服	標準服	男子: 詰襟(黒) 女子: プレザー(紺)		
本学情報	入学者	募集人員 推薦: 男女32人、学力: 男女284人				
	選抜	29年度入学生	推薦	30年度入学生	推薦	31年度入学生
報	その他	国・数・英は自校作成の入試問題で実施。推薦選抜では「小論文」を実施。				
	主な学校行事	1年生全員参加の臨海教室(千葉県館山)、戸山高校との部活動対抗戦、朝陽祭				

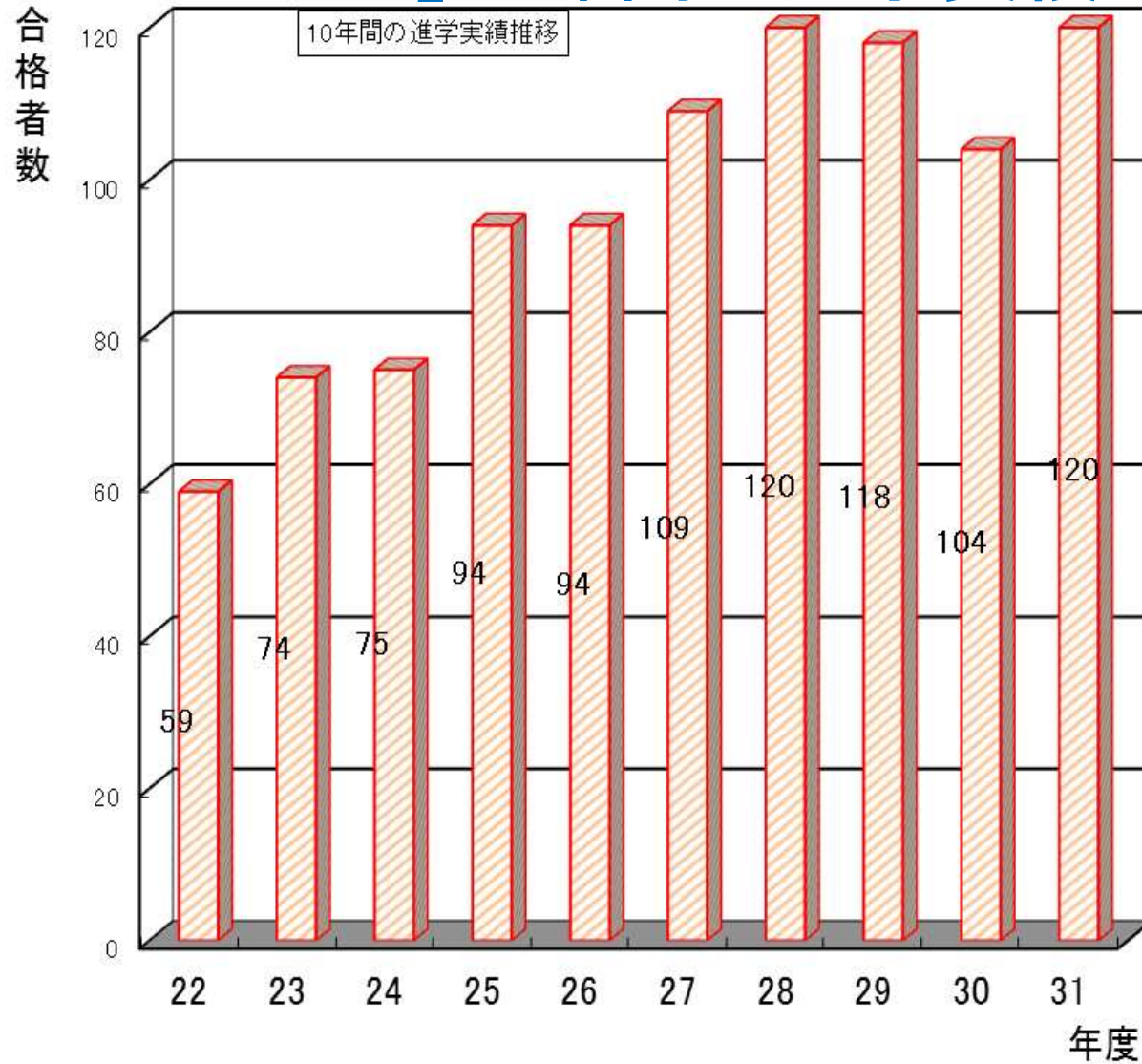
目指す学校 教育目標「全員 指導者たれ」「自主・自律・人間尊重」を達成するため①～④の学校を目指す。①生徒の学力を最大限に伸ばし生涯学び続ける力を育成する学校、②次代を担うたくましいリーダーを育てる学校、③すべての生徒が希望する進路を実現できる学校、④生徒・保護者・都民から信頼され、地域に貢献する学校。

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	<b>進路実現は『補欠なき団体戦』『チーム新宿』</b> ①定観測(模試結果分析、対策)、「目線あわせ」(8人の担任で320人の生徒を観る)などによる生徒の進路希望実現 ②読書活動推進、探究活動による読解力、論理的思考力育成 ③年間1700時間以上の講習等、放課後自習室など、学習支援の充実	①1・2年次生の定観測(年3回)や3年次生の「目線あわせ」(年4回)等により進学指導への共通理解と教科指導の充実を図り、模擬試験への事前事後指導の充実から学力を伸長して、昨年度以上の現役進学率となった。 ②新書を紹介する「新書を読む」の内容を更新するなどして、生徒の知的好奇心を増進した。1年次生は「総合的な探究の時間」で地域課題解決への探究活動を行った。 ③講習・補習は年間1500時間にとどまったが、通年の2・3年次生自習室設置、卒業生チューター活用、センター試験前後のセンター・シミュレーション・個別指導・講習により、国立難関4大学16名現役合格などの実績を上げた。	
目標②	<b>入学時の学力を伸ばす学習指導</b> ①教員の授業力向上と大学入試に向けた実践的指導力の育成、次期学習指導要領を見据えた授業改善の推進 ②「単位制」の活用(本格的習熟度・発展・応用科目) ③小テスト、宿題、週末課題等による「学習サイクル」(予習→授業→復習)の確立と自学自習などへの主体的に学習する態度の育成	①相互授業参観週間(3回)と管理職の指導、教科による模擬試験・入試問題分析を行って授業改善を進めた。校内研修では大学入試改革についての講演により大学入学共通テスト、入試動向への理解を深めた。 ②全学年にわたる習熟度別授業を英、数、国及び理(化)の一部で実施したほか、自由選択科目における発展・応用科目の多数設定を継続した。 ③各授業で小テストや活発な生徒活動によるグループ学習等を実施して主体的に学習する態度を育て、課題の精選や丁寧な個別指導等の改善を施した。週末課題では良好な提出状況を維持して学習習慣の定着を図った。	
目標③	<b>『自律的生活習慣』『文武両道』は本校教育活動の基礎</b> ①挨拶励行、時間厳守、身だしなみ指導(頭髪等)、清掃指導、ルールを守る等の重点指導 ②学習と部活動の両立のための「集中と切り替え」の徹底などによる「文武両道」の実践 ③生徒の心と体のケアへの適切な対応の推進	①時間を守る指導として登校指導を徹底し、遅刻人数は良好な状態が保たれ始業5分前登校の意識が高まった。適切な清掃活動や所持品管理が維持され、整った学習環境が確保できた。 ②部活動ガイドラインを心掛けた部活動を実施し、考查期間活動制限などで文武両道を推進した。計画的な学年集会の実施などから「集中と切り替え」を指導し、学年集団のモラル向上に努めた。1・2年次生での学習支援クラウドサービスの利活用が進み、家庭学習の促進、学習時間調査など様々な学習支援を行った。 ③教育相談連絡会を中心とした教員とSC等の適宜適切な情報交換から丁寧な教育相談と個別指導がなされた。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	難関大学現役合格者数・国公立大等100名以上・早慶大80名以上(過年度・目標は当時関連目標値)	計177	95,74	100,80	79,65	100,80	87,59	100,80	91,86	100,80	100,80	100,80
目標②	国立難関大学(東大・京大・一橋大・東工大・医学部医学科)現役合格者数15名以上(過年度・目標は当時関連目標値)	7	12	15	7	15	10	15	16	15	15	15
目標③	年間遅刻回数の減少(年間平均1日1学級1人未満を下回る)(過年度・目標は当時関連目標値)	1人未満	0.7人	1人未満	0.8人	1人未満	0.7人	1人未満	0.7人	1人未満	1人未満	1人未満

# 国公立大学合格実績（現役・既卒）

## 【10年間の進学実績の推移】



本年度  
現役  
東京大学  
合格  
3名